

平成 30 年度子どもの広場整備検討事業
南部町子どもの広場整備計画（案）
「こんな遊び場をつくろう」

平成 31 年 2 月
南 部 町

目 次

1. はじめに	P1
2. 検討の経過（平成 30 年度実施結果の概要）	P1
(1) 具体的な遊び場のイメージ	P2
3. 今後の計画『「こんな遊び場をつくろう」整備イメージ』	P5
(1) 目指す姿	P5
(2) 公園の場所	P5
(3) 公園の管理者	P5
(4) 公園の特徴	P5
(5) 町民参加型の公園づくり	P5
(6) 各ゾーン・エリア	P6
(7) イメージ図	P6
(8) 整備計画図	P7
(9) 計画平面図	P7
(10) 設計図（平面）	P8
(11) 設計図（縦断）	P8
(12) 整備費用の試算表（工事費のみ）	P9
(13) スケジュール	P10
(14) イベント（想定）	P11

1.はじめに

南部町の子育て支援施策において、「子どもの遊び場の確保」は課題の一つとなっており、平成27年度～平成31年度「南部町子ども・子育て支援事業計画」（平成27年3月策定）において、「子どもの遊び場の確保」については、「公共施設等の有効活用など、子どもたちが身近な地域で安心して遊べる場所の確保に努めます。」としています。

平成28年度には法勝寺児童館を新設し、放課後児童の居場所の充実を図りましたが、子育て支援拠点の利用者等から、「町内に遊びに行ける場所や公園がない」「どこに連れていったらいいのかわからない」という声があることから、遊び場の確保の方法を具体化するため、平成29年度に子育て世代の保護者を対象とした「こんな遊び場があったらいいな」座談会を計5回開催し、子育て世代の意見を反映させた「子どもの遊び場整備構想」をまとめることとしました。

平成30年度には、「こんな遊び場があったらいいな」座談会を計4回開催し、平成29年度に策定した「子どもの遊び場整備構想」をもとに、さらに子育て世代の意見を反映させた、具体的な公園整備について検討しました。今後は、用地取得や測量設計をすすめ、平成31年度（2019年度）～32年度（2020年度）は公園整備の本工事をを行う予定としています。公園整備後は、イベントを通して公園環境の良さを活かした展開を行います。

以上のことを踏まえ、平成31年度以降について「南部町子どもの広場整備計画」を策定しました。

2.検討の経過(平成30年度実施結果の概要)

保護者参加の座談会やフィールドワークを通じて、新たにつくる「南部町子どもの広場」について、実際に整備予定地に行きアンケートをとったり、デザインを検討したり、公園管理や子育てイベントとしての活用方法を、保育園の親の立場として、様々なご意見をいただきました。また、町内出身有識者にコーディネーターとして参加いただき、助言を受けながら、どのような公園デザインにしていくか具体的に検討しました。

座談会(計4回)

回	日時	場所	参加
第1回	平成30年6月28日(木) 19時30分～21時00分	南部町健康管理センター すこやか(南部町倭)	保護者4名、 副町長ほか役場6名、 コンサルタント2名、 コーディネーター
第2回	平成30年8月24日(金) 19時30分～21時00分	南部町健康管理センター すこやか(南部町倭)	保護者1名、役場4名、 コンサルタント2名、 コーディネーター
第3回	平成30年10月22日(月) 19時30分～21時00分	南部町健康管理センター すこやか(南部町倭)	保護者5名、役場5名、 コンサルタント2名
第4回	平成31年1月25日(金) 19時30分～21時00分	南部町健康管理センター すこやか(南部町倭)	保護者2名、 町長ほか役場4名、 コンサルタント2名、 コーディネーター

フィールドワーク(計1回)

回	期間	意見	検討
第1回	平成30年9月22日(土) 10時～11時	子どもの広場整備候補地 (東西町地内)	保護者5名、子ども5名、役場3名、コンサルタント2名

(1) 具体的な遊び場のイメージ

平成30年度の座談会では「子どもの遊び場整備構想」の3要素「異年齢が楽しめる」「自然を活かす」「既存のものを活かす」をもとに、公園の場所選定や公園デザインを検討しました。この構想をもとに、さらなる具体的な遊び場のイメージや機能について、たくさんのアイデアや意見をいただきました。このうち、主な意見について以下のとおり整理しました。

○参考（「子どもの遊び場整備構想」から抜粋）

必要な要素	意見
①異年齢が楽しめる	<ul style="list-style-type: none"> ○0歳～3歳の子どもが楽しめるエリア ○4歳～5歳、小学生等、すこし大きい子向けのエリア ○年齢に応じたエリア設定 ○異年齢が集うことができるスペース ○小さい子どもを大人が安心して見られるスペース ○大人が景色を眺めたり座って過ごせるスペース ○いろんな年代の人が多目的に利用できるスペース
②自然を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ○斜面などを利用した遊びのしかけ、休める場所がつけるといい ○自然の眺めを活かせられると最高 ○日差しや雨風をしのげるようなものがあるといい
③既存のものを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ○今ある施設でイベントの日を設定するなど、みんなが知って遊びにいけるようにするといい ○小さい子向けの単純な遊具がおいてあるだけでいい

○平成30年度座談会等での主なご意見

座談会等	主なご意見（抜粋）
第1回座談会	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが自主的に行くことができる公園が良い。 ○親子が座ってのんびりできるような場所ができたら良い。 ○木はメンテナンスが必要だが、木1本あれば子ども達は遊び方を考える。 ○材料として木を使うイメージ。腐食は逆らえないと思う。 ○作ったときに安全面の基準をクリアできればいい。いつの段階で取り替えるかが難しい。 ○こんな遊び場があったらいいなという意見は子どもの意見であってほしい。 ○遊び場マップができてすごい。この座談会の意見で出たことの成果だと思う。

<p>第2回座談会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ツリーハウスや展望デッキは管理上問題があるのではないか。 ○親子のみなさんに実際に現地で見てもらって、今の地形を活かした親子の良い過ごし方についての意見を取り入れたらどうか。 ○自分たちで作り上げていくともっと面白いものができると思う。 ○竹明かりも良い。地元で色々な技をもっている人がおり、作ってもらったりする。そういうことができる場になると良い。 ○子どもたちによる植樹をすると愛着がわくと思う。自分たちが植えた、育てたとなると大切にす。 ○遊具は他の公園にもあるので、ここにしかない魅力的な町民の憩いの場になってほしいと思う。 ○参加型で「知恵を出す」「環境をありのままどう活用するか」ということがポイントだと思う。
<p>フィールドワーク（公園候補地を現地視察）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○木々や法面で四方を囲んで、下の空間をすりばち状にする（大人の見えない低い高さで囲まれた空間だからこそ子どもたちが夢中になって遊ぶ。下に行くほど安全な環境にして、ほどよい距離感で上から大人が見守ることができる空間をつくる） ○自然が多い公園になりそうなので、秘密基地のような仕掛けがあると子どもが喜ぶかもしれない。（何かしら仕掛けがないと遊びづらい） ○子どもが楽しめる公園＋大人の居心地も良いと使いやすい。 ○日陰を提供、休憩スペース、大人の空間がほしい。 ○大山の見える場所でブランコ、ベンチがあるといい（ベンチに日除け、東屋があるといい）。 ○形状が上から全体が見下ろせるようになっているので、大人の目が子どもに行き届いていて良い環境を活かす。 ○下の入り口にある小道が魅力あるスペースになっている（独特な雰囲気が良い）。 ○芝生があって、子どもが寝転がることができたらいい。 ○段で窪みになっている部分が子どもには面白いじゃないかと思う。 ○子どもから大人が見えない場所が子どもの遊び場になる（大人からは見えている）。 ○段々を残すところとなだらかにするところを分けて活かす。 ○段差は残すが、スロープがほしい（ベビーカーでの移動）。 ○道路側の法面に子どもが登ると危険（道路の飛び出しなど）。 ○道路に面した公園なので安全対策がしっかり必要だと感じた（子どもが急に飛び出したりなど色々な事を考えて）。 ○道路には出られないような策を考えてほしい。 ○木の遊具がいいな。 ○ブランコ、鉄棒がほしい。 ○各保育園が積極的に利用することを考える。 ○虫捕り、木の実、花摘み、果物とって食べたり。

<p>第3回座談会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○南部町の伝統行事である「法勝寺一式飾り」をモチーフとした大きなオブジェを毎年、親子で作成してみてもどうか。「つくっては壊す」のが前提でつくるのは面白い。 ○子どもは虫取りが大好き。一部を湿地帯にして「ビオトープ」にしたらい。 ○スロープをつかって、夏は草すべり、冬はそり遊びができたらい。 ○木等で四方を囲ったり、段差を活かせば、子どもたちが夢中になって遊ぶと思う。
<p>第4回座談会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小さな子が探検、冒険できる場所になりそうな気がする。 ○イベントを定着させるために、ボランティアの方や使う人が一緒に参加していくやり方が大切。 ○楽しく使いながら、もっとこうなら良いというのが出てきて形にすると良い。 ○ちょっと座るところなら、丸太や切り株みたいな腰かけが置いてあるだけでいい。 ○青空●●みたいな普段なら室内でしているもの、例えば、人形劇を青空の下でやっても良い。 ○小さい子が安心して遊べる場になれば良い。 ○綺麗な日が差せば、日時計があつたら面白い。 ○植樹も良い。昔は生まれた時に植樹するということがあった。そういう思い出はずっと続く。 ○小さい子を連れて回るのは親だけではなく、祖父母も連れていく。祖父母も巻き込んだら利用者が増えると思う。公園を生き生きしたところにするには地域の高齢者も参画してもらえれば良いと思う。

3.今後の計画『「こんな遊び場をつくろう」整備イメージ』

(1) 目指す姿

- 大人が安心して子どもを見守り、小さな子どもが楽しんでもらう場とする。
- 町民の手で公園づくりを進めていくことで、公園を身近に感じてもらうとともに、まちづくりに参加している意識をもっていただく。
- 子どもたちに公園に対する関心を広げることを通じて、自分たちのまちや公園への愛着を深めていただく。
- 人と豊かな自然との関係性を実感できる交流の場として、地域の魅力や活力を引き出す。

(2) 公園の場所等

国道 180 号バイパス横（東西町スポーツ広場隣接地）

(3) 公園の管理者

南部町役場子育て支援課 ※イベントは教育委員会（遊ぼう広場）と連携して実施。

(4) 公園の特徴

- 国道 180 号バイパス沿いに位置し、ほぼ旧西伯地区と旧会見地区の中間地点にあたるため、町民の多くが訪れやすい場所にある。
- 観音像の立つ母塚山をバックに、秀峰大山を眺めることができる場所に位置し、自然豊かな環境にある。
- 隣接している東西町スポーツ広場は小学生以上の大きな子どもの遊び場として、在宅または未就学児童など小さな子どもを対象に、異年齢が棲み分けて遊ぶことができる。
- 近隣の施設に駐車場やトイレがある。
- 子どもたちが緑いっぱいの芝生の上を木製遊具等でのびのびと遊ぶことができる。
- 自然に囲まれた空間で、子どもが熱中して遊ぶことができる。
- 東屋を雨・日除けなど休憩スペースとして確保することで、大人も子どもも居心地の良い公園として利用できる。
- 雰囲気のある「木のトンネルゾーン」をスロープ状の通路として整備することで、段差のある公園内の移動の負担を軽減できる。

(5) 町民参加型の公園づくり

- ネーミングライツまたは公募により公園の愛称を決定する。
- 保育園の保護者や子どもをはじめ、町内のボランティアの方々に、芝のポット苗を植えていただく。（参加型イベント①）
- 町内のボランティアを募集し、公園内の清掃、芝刈りや肥料まき、水やり等の管理を行っていただく。
- 保育園の保護者や子どもをはじめ、町内のボランティアの方々を招待し、「木製ベンチ」を地域の大人に指導を受けながら製作していただく。（参加型イベント②）
- 竣工式は、保育園児やその保護者をはじめ、コーディネーター、地域やボランティアの方々など関係者等を招待し、完成式典を実施する。

○子ども達やその保護者に公園への愛着を持っていただくために、芝生を活用したイベントを通じて啓発活動を行う。

(6) 各ゾーン・エリア

- 多目的広場ゾーン(全面芝、将来的に木製遊具を置く)
- 木のトンネルゾーン(木で囲まれた通路を真砂土舗装で整備)
- 投てきゾーン(子どもが絵を描いたり、小さな子がボールを当てて遊べる壁を設置)
- 展望台エリア(東屋1棟を整備)

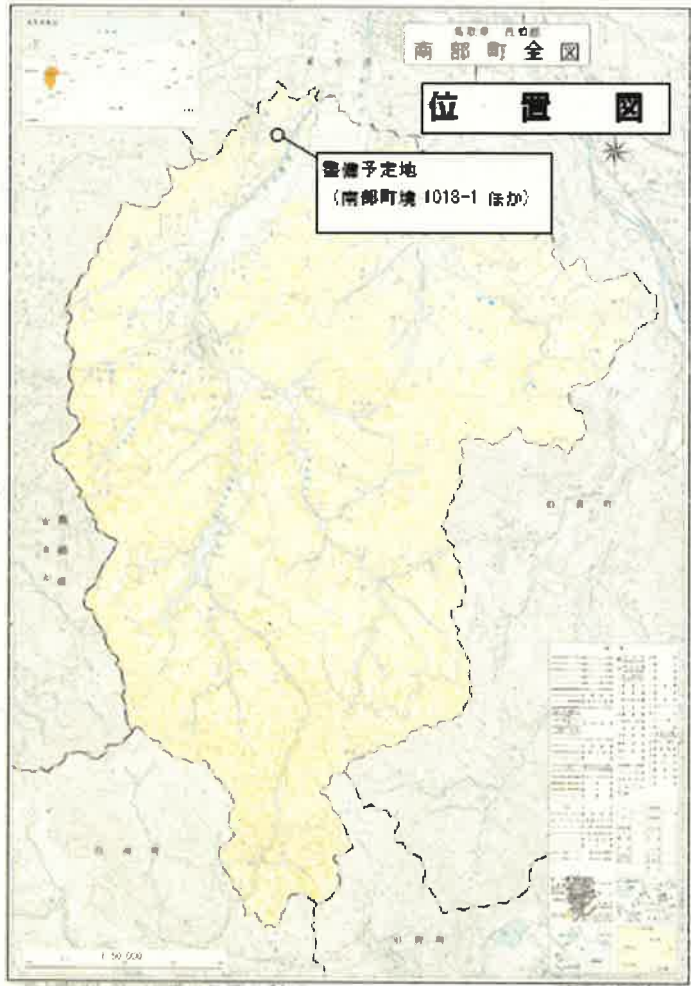
(7) イメージ図

「異年齢が楽しめる」「自然を活かす」「既存のものを活かす」といった3つの要素と座談会でいただいたご意見を盛り込んだ整備イメージ(作成者 深田新コーディネーター)をもとに、平成31・32年度に具体的な整備を進めていきます。

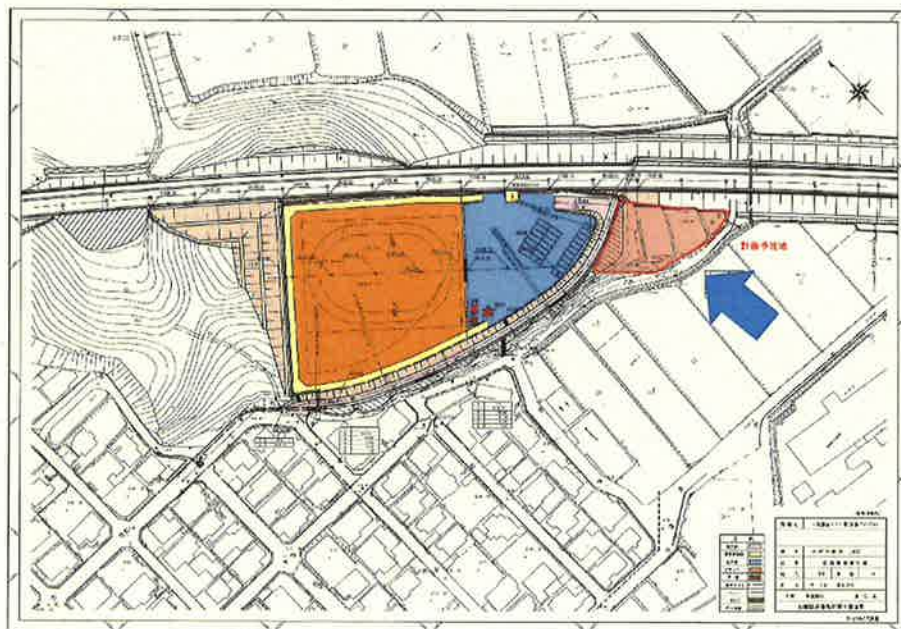
※図案作成 深田新コーディネーター



(8) 整備計画図



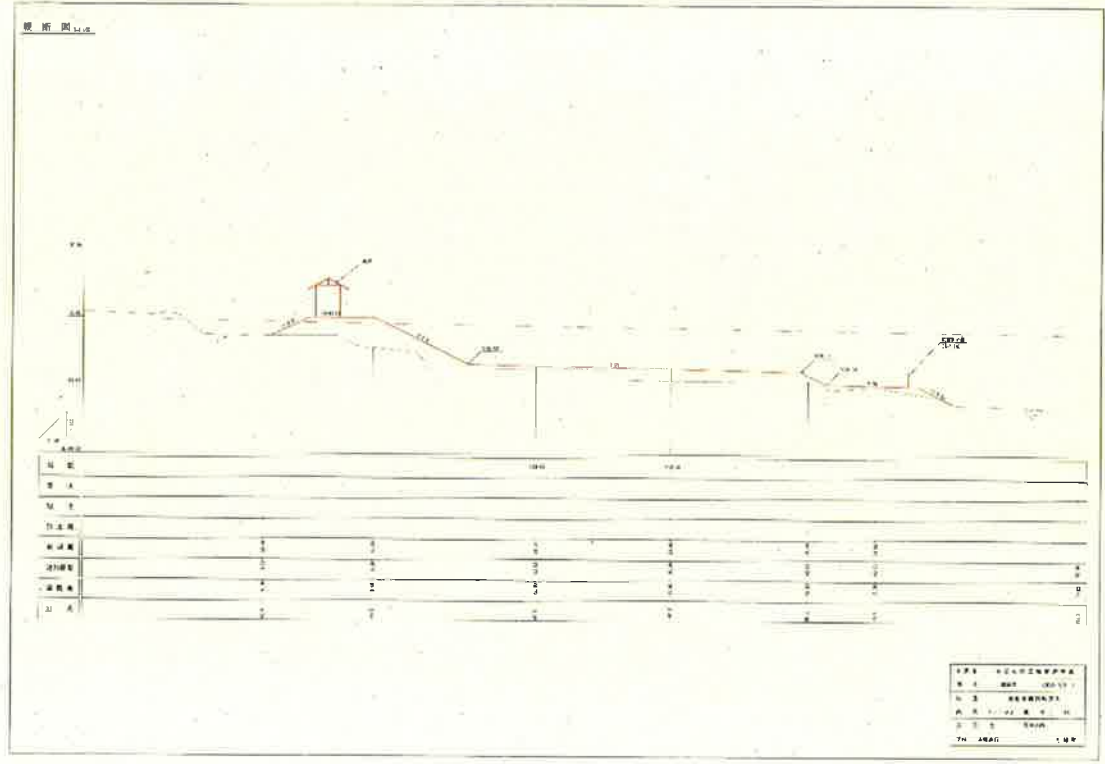
(9) 計画平面図



(10) 設計圖 (平面)



(11) 設計圖 (縱斷)



(12) 整備費用の試算表（工事費のみ）

工種	数量	平成 31 年度（第 1 期）	平成 32 年度（第 2 期）
敷地造成費	一式	1,921,850 円	
園内舗装工	445 m ²	3,892,800 円	
水道工事費	一式	2,380,000 円	
植生工事	980 m ²		283,000 円
植栽工事	13 本		891,000 円
投てき壁	1 基		621,900 円
防護柵設置	100m		1,473,300 円
階段設置	2 基		1,172,800 円
東屋設置	1 基		2,312,000 円
小計（A）		8,194,650 円	6,574,000 円
仮設費（B）		655,572 円	540,320 円
諸経費（C）		1,229,198 円	1,013,100 円
計（A+B+C）		10,079,420 円	8,307,420 円
消費税		1,007,942 円	830,742 円
合計（税込）	丸め	11,000,000 円	9,100,000 円

その他	数量	平成 31 年度（第 1 期）	平成 32 年度（第 2 期）
芝生張（ポット苗）	一式		250,000 円
原材料費 （切り株の椅子用）	切り株 30 基（町内企業から低額で購入）	2,000 円	
木製遊具 ※宝くじのコミュニティ助成事業を活用し、右記の木製遊具を想定して設置する。	木製すべり台 （1 基）		（未定）
	木製ブランコ （1 基）		（未定）
	ウッドマウンテン （1 基）		（未定）
	平均台 （1 基）		（未定）

※切り株は、椅子加工時に川剥ぎするため、1 年以上乾燥させる必要があり、事前購入。

※木製遊具は、スペースに限りがあるため、コンパクトサイズの遊具を設置。

※芝刈り機・ホース・掃除道具等を収納する倉庫や公園名・マナー看板も検討。

(木製遊具イメージ)

○木製すべり台



○木製ブランコ



○ウッドマウンテン (木製ボルタリング)



○木製平均台



(13) スケジュール

【平成31年度(2019年度)スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					事業者 決定	← 第1期工事 →					
						← 公園ボランティア募集 →					
						← ネーミングライツまたは愛称公募 →					

【平成32年度(2020年度)スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業者 決定	← 第2期工事 →									
← 芝生苗植え →					竣工式	← 木イベント等 →					
	← 芝生の育成 →										

※以降は、(14)のイベントを想定して実施する。

(14) イベント (想定)

公園生き物観察会

自然観察員を講師に
公園内の昆虫などの生き物
や草花、木の実の観察を
行い、親子で自然に親しむ

こどもアートひろば

公園のはっぱや木の実を
画用紙にならべて
お絵かきをする
想像力をふくらませて
いろいろな絵を描く

親子で作ろうリースづくり

公園内の葉っぱや木の実を
つかって親子でリースづく
りを行う

芝生の手紙

牛乳パックを溶かしたもの
に枯れた芝生をすきこんだ
紙を使って、お世話になっ
た人への感謝の手紙を送る

芝生で親子ヨガ体験

ヨガのインストラクターを
まねき、芝生の上で
親子のヨガ体験を行う

コースターワークショップ

木を加工してコースターを
つくる
好きなスタンプをおしてオ
リジナルのコースターをつ
くる

紙飛行機を飛ばそう

紙飛行機をつくって飛ば
してもらおう
高低差があるので、しっか
りと飛距離が出るので競争
してもらおう

むかし遊び

モノづくり体験イベント
けん玉検定や、竹とんぼを
作って距離を競うなど

ハッピーハロウィン

木片をつかい、かぼちゃの
おばけに似せた顔をたくさ
んつくる
ハロウィンの雰囲気をも
公園内で作りだす

芝生で子どもサッカー教室
ガイナール鳥取によるサッ
カー体験・教室（小さい子
向け）を行う

大山さんを描こう

公園から大山がよく見える
子供たちが大山をみて
お絵かきをしてもらおう

大シャボン玉で遊ぼう

おおきなシャボン玉をつく
って、その中にこどもが入
ってもらおう体験をしてもら
う

親子キャンドルナイト
竹明かりでつくったキャ
ンドルをならべて、美しい音
楽を聴きながら夕方を過ご
すコンサートを開催する

親子でオブジェをつくろう

法勝寺地区伝統行事「一式
飾り」風オブジェを親子で
作る。「つくったらこわ
す」というコンセプト

公園なぞとき

公園にいる生き物たちから
出されるなぞをヒントを
もらいながら、解いていく
(景品あり)